## 講評 DIGを終えて

平成17年11月11日 日本応用地質学会東北支部 代表幹事 橋本修一

## 地形・地質情報をいれた DIGは全国初!

DIG: 平成9年, 三重県消防防災課, 防衛庁防衛研究所, 防災ボランティアが生み出した防災トレーニングプログラム





## DIGとは「掘る」こと

掘る,掘り起こす,掘り出す,発見する,掘り下げて調べる

何

防災の意識, 地域の意識, まちづくりの

悪魔の

意識, ヒト・地域の連携

大事なのは

複数人、多面的な見方・・想像力

地震防災に必要な知識は広範囲に及ぶ 地質・地盤の知識・知恵は必要不可欠 ベースマップとして活用し、より効果的な地 域防災マップを作成できる

11月11日は、安政江戸地震150周年・・・





●新吉原の防災対策 脱出用の「跳ね橋」は整備。 朽ちたり、錆びて機能せず。



●新吉原の地盤

人の住まない湿地上の立地(明暦大火後)

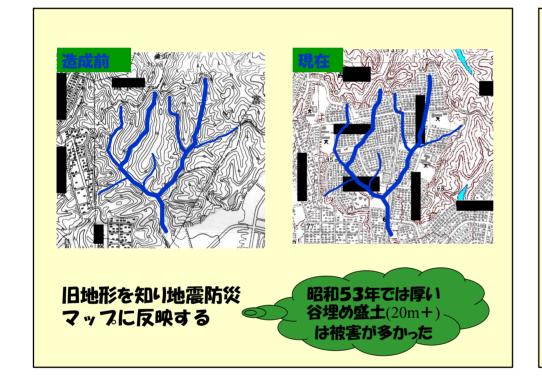
・・ゆれやすい⇒それなりの対策必要。

現代では可能(地盤改良, 耐震補強)

地形・地質を考慮した防災マップの精度を上げる際、表現方法に留意

【重要】ゆれやすさの表現方法などは地域で十分に話し合い、理解する

・・丘陵地の例では





## 最後に

谷川三郎氏(現・人と防災未来センターの語り部, 1995年芦屋市建設部長)の話

困ったこと

役立った!

1. トイレの水がない!

1. 懐中電灯

2. 食料・水がない

2. 携帯ラジオ

3. 水(風呂, バケツ)

3. 電話が通じない!

重宝・助けを呼ぶサイレン, ホイッスル